

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 留萌市における結果の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育委員会、各学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象

- (1) 小学生調査 小学校第5学年（留萌市調査実施児童 男子 68名 女子 69名）
- (2) 中学校調査 中学校第2学年（留萌市調査実施生徒 男子 69名 女子 90名）

3. 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

・小学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

・中学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※20mシャトルランか持久走のどちらかを選択

イ 質問紙調査

・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

・子どもの体力の向上に係る取組等に関する質問紙調査

4. 調査実施日

平成31年4月から令和元年7月末までの期間

Ⅱ 実技に関する調査結果の概要

1. 用語解説と説明

体力テスト種目	体力要素	測定
握力	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
長座体前屈	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横とび	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
20mシャトルラン	全身持久力	20m走行の折り返し回数
(中)持久走	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
50m走	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
ソフトボール投げ (中)ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	遠投した距離
体力合計点	8 種目の体力テスト成績を 1 点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点（80点満点）	
総合評価	8 種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方から A B C D E の 5 段階で評定した体力の総合評価	

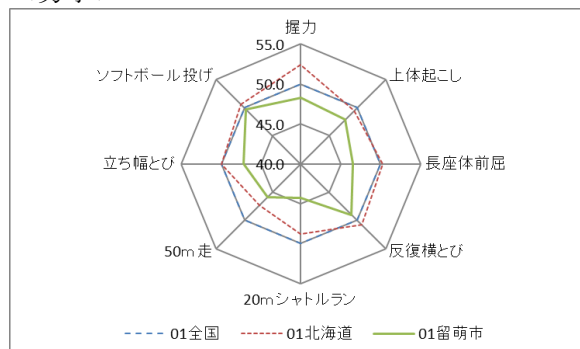
※（中）は中学校

用語	解説
標本数	・ 平均値、標準偏差、T 得点を算出した人数
平均値	・ 調査結果(テスト成績) の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和／標本数」
標準偏差	・ 調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・ 平均値±標準偏差の 3 倍の範囲内にほぼ全体が入る（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和／（標本数－1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・ 実技テスト項目における得点の合計
T 得点	・ 全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T 得点＝50＋10×（調査結果－平均値）／標準偏差」

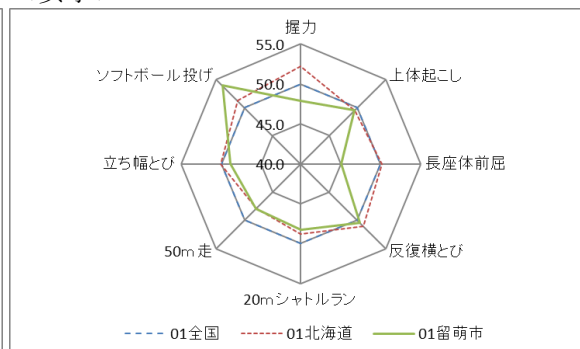
2. 小学校 5 年生の結果概要

(1) 各種目の結果（全国を 50 とした時の T 得点をレーダーチャートで表示）

<男子>

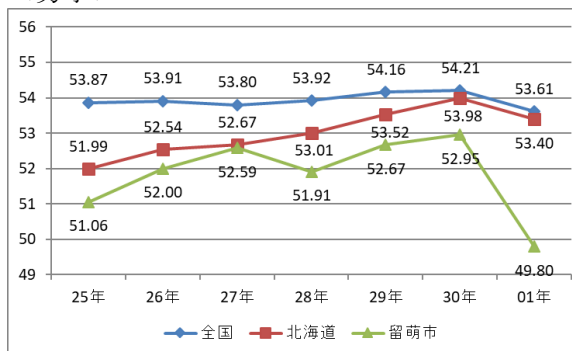


<女子>

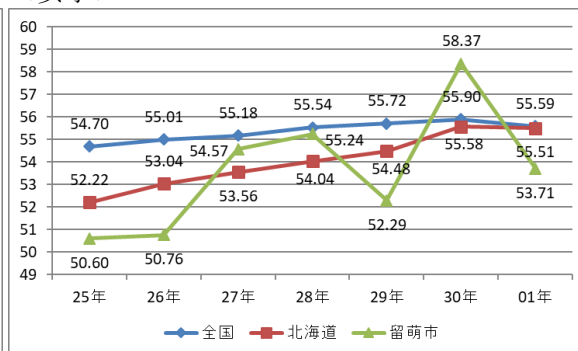


(2) 体力合計点（平均値）の推移

<男子>

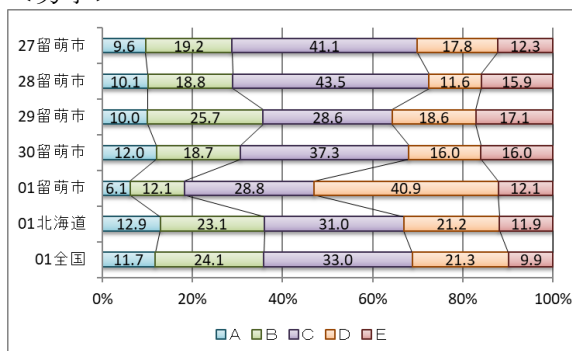


<女子>

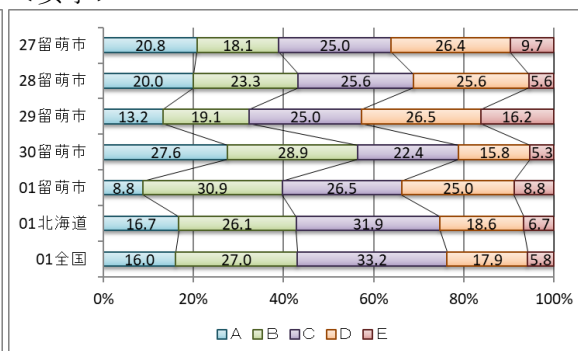


(3) 総合評価の推移

<男子>



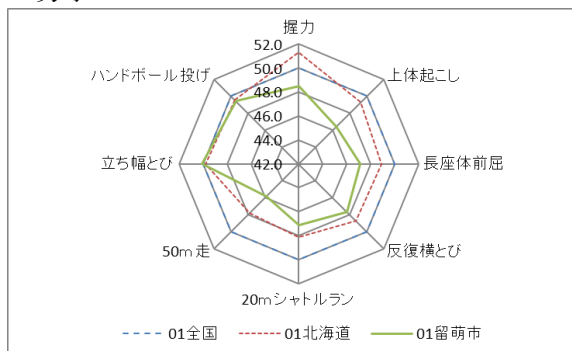
<女子>



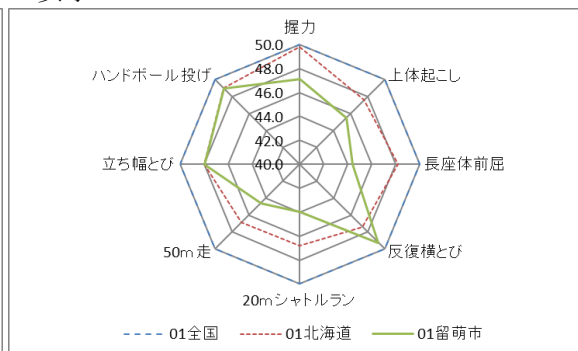
3. 中学校2年生の結果概要

(1) 各種目の結果（全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示）

<男子>

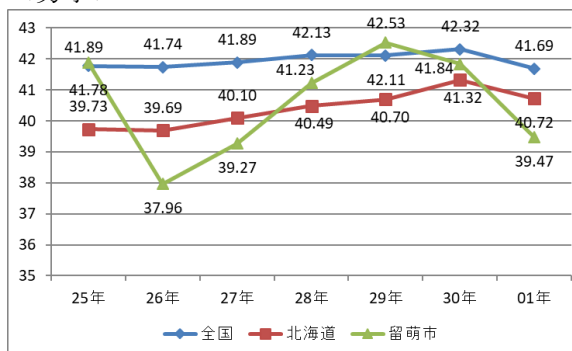


<女子>

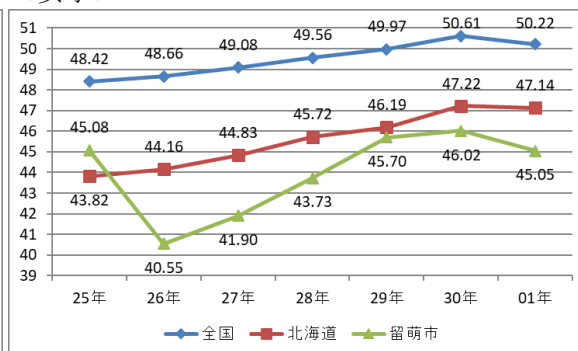


(2) 体力合計点（平均値）の推移

<男子>

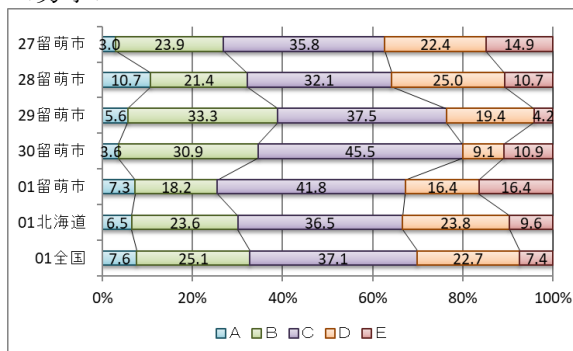


<女子>

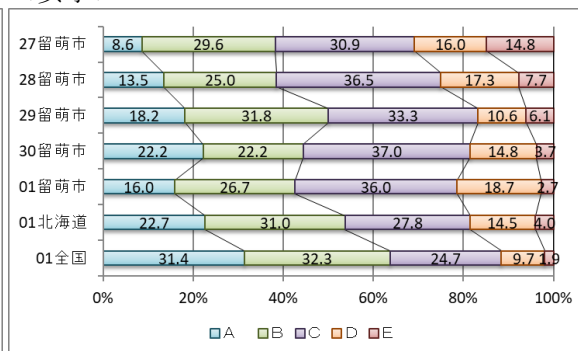


(3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



【小学校】

○各種目

- ・男子は、全ての種目で、全国及び全道平均を下回っている。
- ・女子は「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「反復横とび」が全国を上回り、「50m走」は全道を上回っている。

○体力合計点（平均値）・総合評価

- ・体力合計点は、男女ともに、全国及び全道平均を下回っている。
- ・総合評価は、男女ともに、A・B層の割合は昨年度より減少し、全国及び全道の割合より少なくなっている。

【中学校】

○各種目

- ・男子は、「立ち幅とび」が全国及び全道平均を上回っている。
- ・女子は、「反復横とび」が全道平均を上回っている。

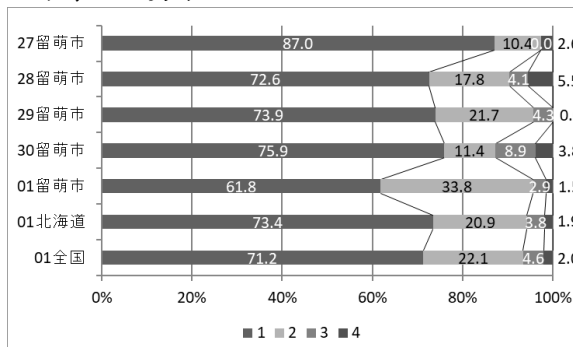
○体力合計点（平均値）・総合評価

- ・体力合計点は、男女ともに、全国及び全道平均を下回っている。
- ・総合評価は、男女ともに、A・B層の割合は昨年度より減少し、全国及び全道の割合より少なくなっている。

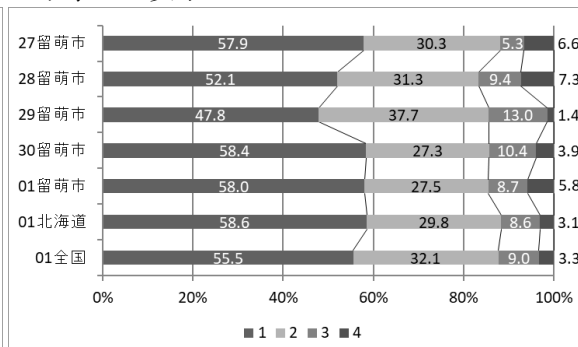
Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要

質問 1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。			
	1 好き	2 やや好き	3 やや嫌い	4 嫌い

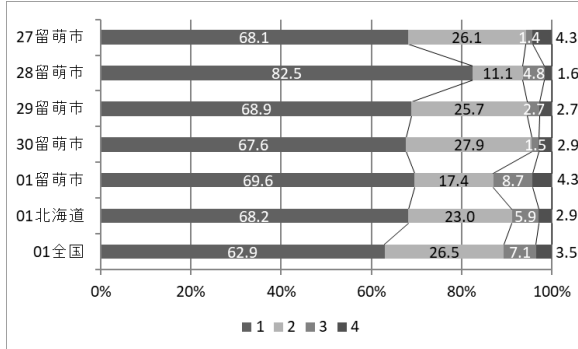
<小学生・男子>



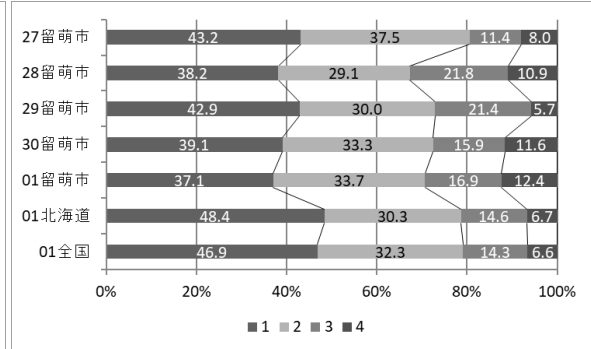
<小学生・女子>



<中学生・男子>

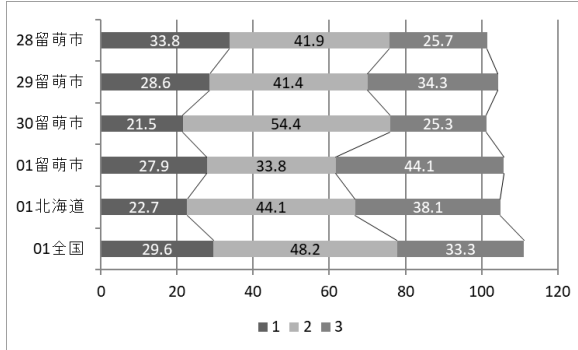


<中学生・女子>

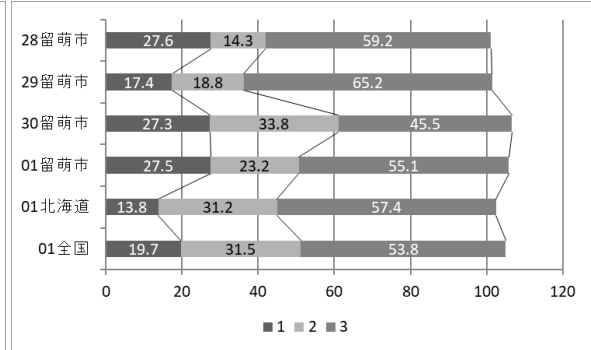


質問 2	学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団をふくみます。) 当てはまるものを全て選んで下さい。(複数回答可)
(小)	1 運動部 2 地域のスポーツクラブ 3 入っていない

<小学生・男子>

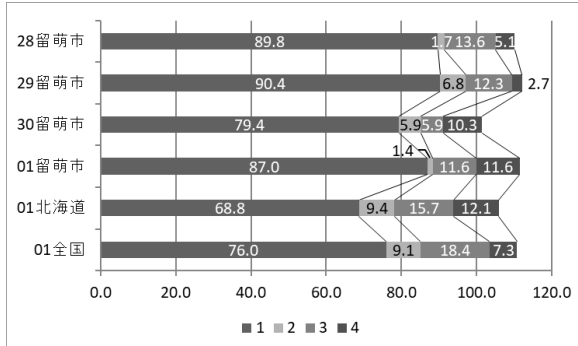


<小学生・女子>

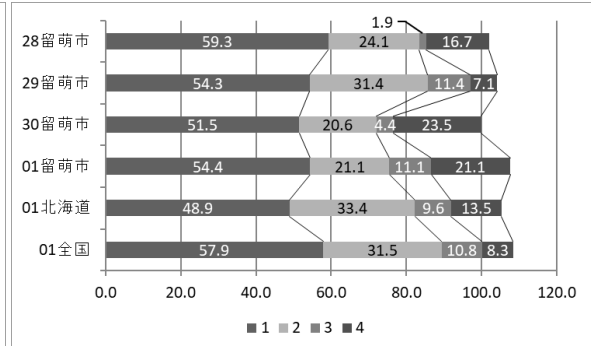


質問 2	学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んで下さい。(複数回答可)
(中)	1 運動部 2 文化部 3 地域のスポーツクラブ 4 所属していない

<中学生・男子>

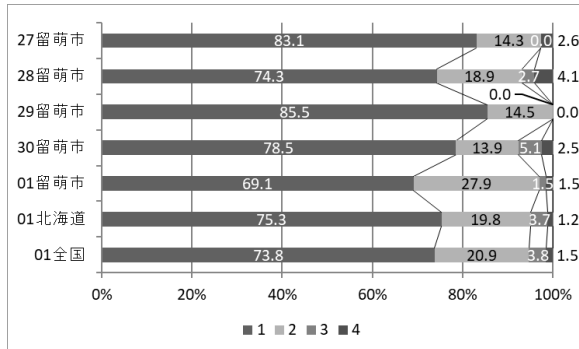


<中学生・女子>

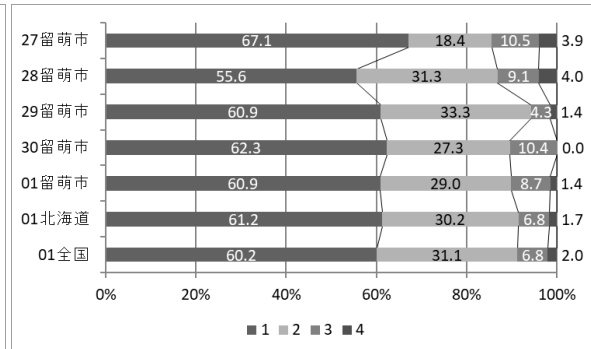


質問 3	体育〔保健体育〕の授業は楽しいですか。
	1 楽しい 2 やや楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

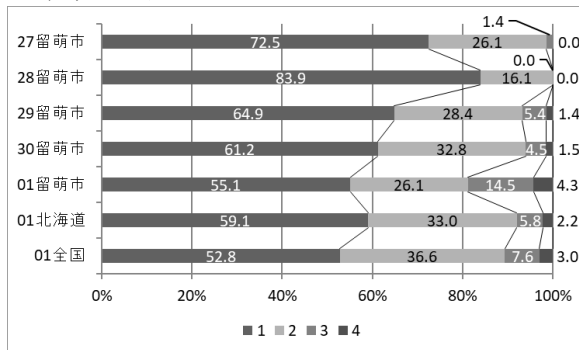
<小学生・男子>



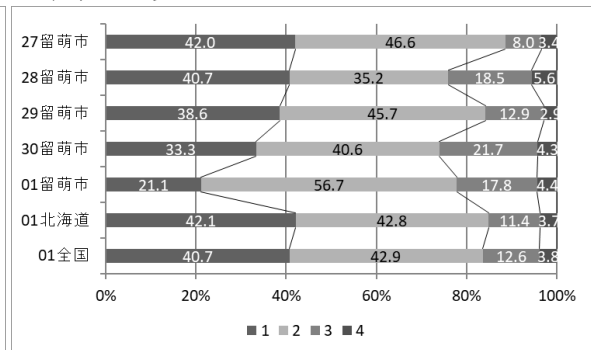
<小学生・女子>



<中学生・男子>

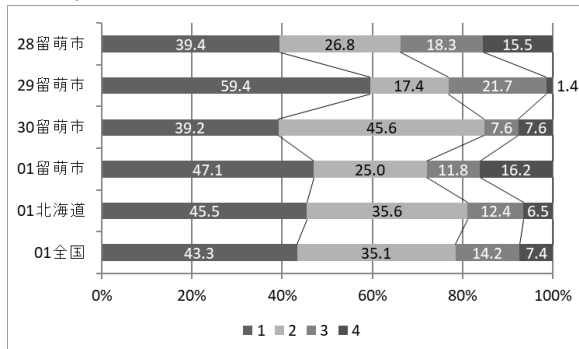


<中学生・女子>

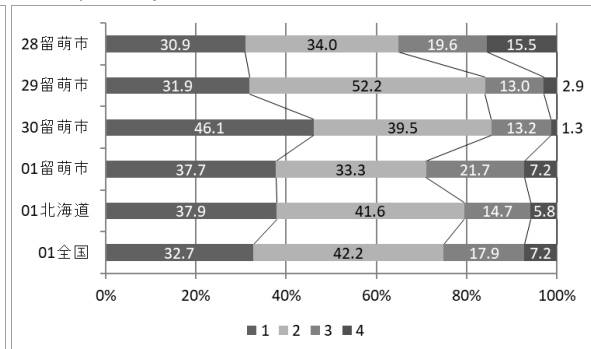


質問 4	放課後や学校が休みの日に運動部〔運動部活動〕や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。			
	1	2	3	4
	よくある	ときどきある	あまりない	全くない

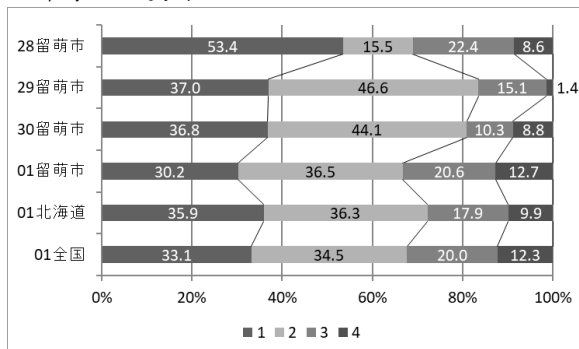
<小学生・男子>



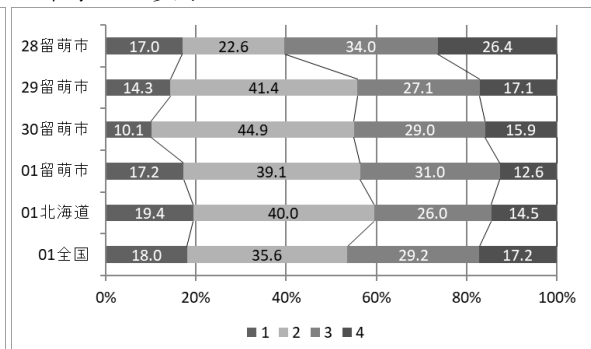
<小学生・女子>



<中学生・男子>

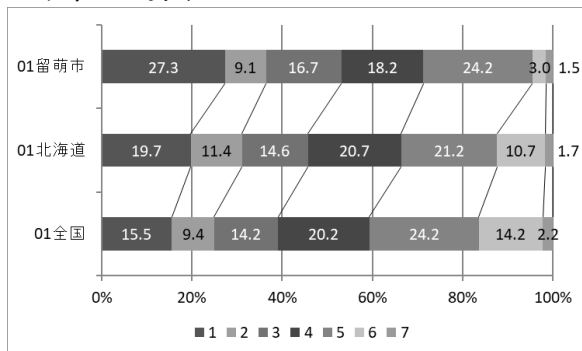


<中学生・女子>

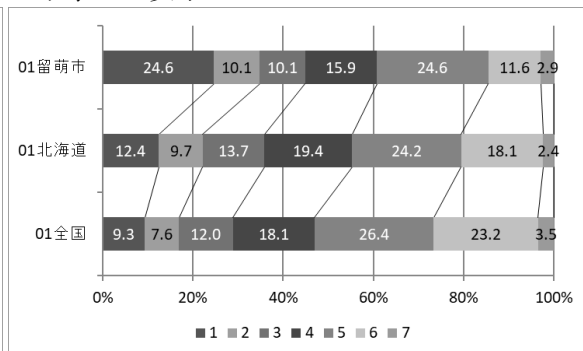


質問 5	平日(月～金曜日)について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。
	1 5時間以上 2 4時間以上5時間未満 3 3時間以上4時間未満 4 2時間以上3時間未満 5 1時間以上2時間未満 6 1時間未満 7 まったく見ない

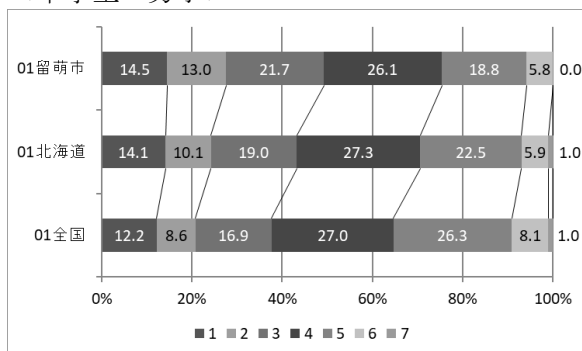
<小学生・男子>



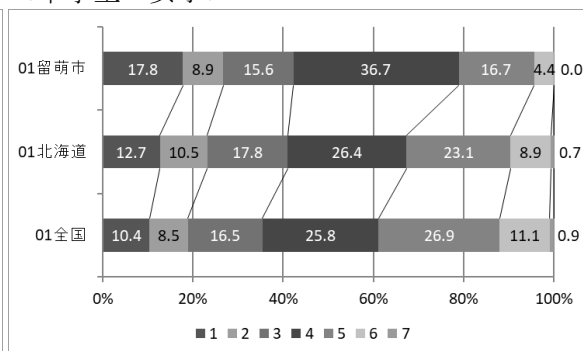
<小学生・女子>



<中学生・男子>



<中学生・女子>



【小学校】

- ・運動やスポーツをすることは好きであると肯定的に回答した児童の割合は、男子は昨年度よりかなり多く、女子は昨年とほぼ同様である。
- ・学校の運動部に入っている児童の割合は、男子は昨年度より多い。女子は昨年度とほぼ同じであるが、全国と比べ、かなり多くなっている。
また、地域のスポーツクラブに所属している児童は、男女ともに、昨年度よりかなり少なく、全国と比べ、かなり少なくなっている。
- ・体育の授業は楽しいと肯定的に回答した児童の割合は、男子は昨年度より多くなっているが、女子はほぼ同じである。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする児童の割合は、男子は昨年度よりかなり少なく、全国と比べ、少なくなっている。女子は昨年度よりかなり少なく、全国と比べ、やや少なくなっている。
- ・平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童の割合は、男女とも全国と比べ、かなり多くなっている。

【中学校】

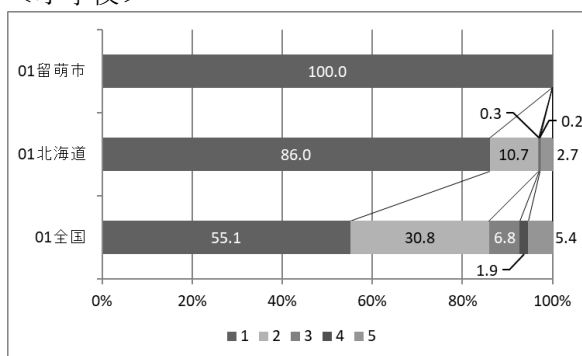
- ・運動やスポーツをすることは好きであると肯定的に回答した児童の割合は、男子は昨年度よりかなり少なくなっている。女子は昨年とほぼ同じであるが、全国と比べ、かなり少なくなっている。
- ・部活動として運動部に所属している生徒は、男子は昨年度よりかなり多く、全国と比べ、かなり多くなっている。女子は昨年度とほぼ同じで、全国と比べ、やや少なくなっている。
また、地域のスポーツクラブに所属している生徒は、男子は昨年度より多いが、全国と比べ、少なくなっている。女子は昨年度より多いが、全国とほぼ同じである。

- ・体育の授業は楽しいと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は昨年度よりかなり少なく、全国と比べ、かなり少なくなっている。女子は昨年度よりやや多いが、全国と比べ、少なくなっている。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする生徒の割合は、男子は昨年度よりかなり少なくなが、全国とほぼ同じである。女子は昨年度や全国とと比べ、ほぼ同じである。
- ・平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている生徒の割合は、男子は全国と比べ、かなり多く、女子は多くなっている。

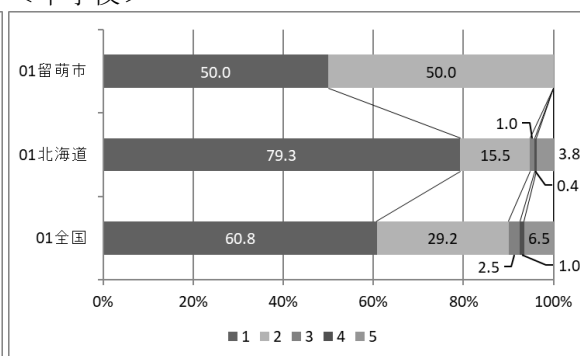
Ⅳ 学校質問紙の調査結果の概要

質問 1	平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。
	1 行った 2 行う予定である 3 特定の学年のみ行った 4 特定の学年のみ行う予定である 5 行わない（行う予定はない）

<小学校>

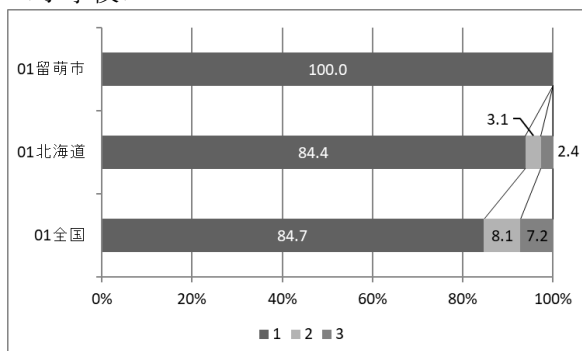


<中学校>

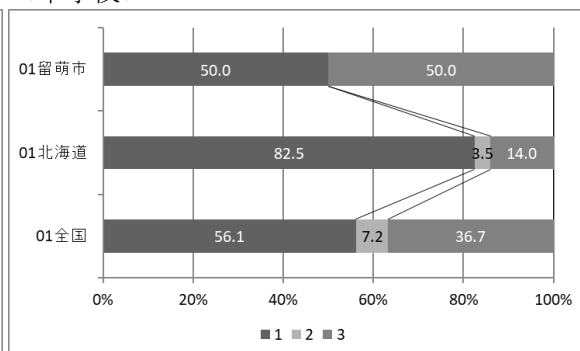


質問 2	平成30年度に、体育〔保健体育〕の授業以外で、全ての児童〔生徒〕の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。
	1 〔全ての学年で〕行った 2 一部〔特定の〕の学年で行った 3 行わなかった

<小学校>

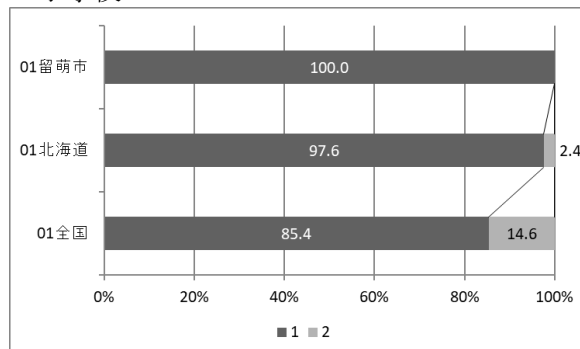


<中学校>

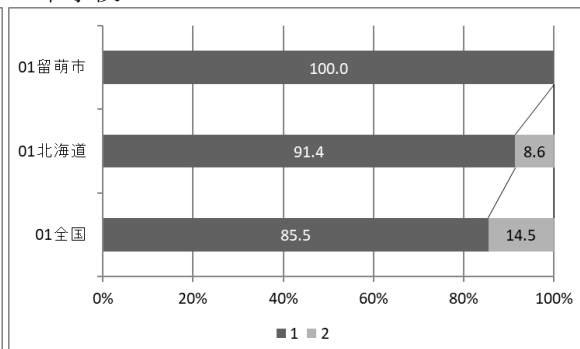


質問 3	教員同士で、児童〔生徒〕の体力・運動能力の向上に関する取組、体育〔保健体育〕の授業における指導方法の工夫・改善について検討する機会がありますか。
	1 ある 2 ない

<小学校>



<中学校>



【小・中学校】

- ・調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善は、予定を含めて、全ての小中学校で行われている。
- ・体育〔保健体育〕の授業以外の児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組については、全ての小学校でなされているが、一部の中学校では行われなかった。
- ・教員同士での児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組等については、全ての小中学校で検討する機会を設けている。

V おわりに

体力は、あらゆる活動の源として、健康維持のほか、意欲や気力の充実にも大きく関わっており、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤であります。そのため、幼児期から、運動に親しむ資質や能力の育成、体力の向上に努めることが大切です。

各学校では、新体力テストなどの結果を全教職員で共有し、実施に至る取組の工夫など、子どもたちがもっている力を十分に発揮できるよう、年間体力向上プランの改善を図るとともに、授業改善に活用するなど、体力向上に向けた検証改善サイクルを確立してきています。

しかしながら、体育授業以外での運動やスポーツに取り組む時間が減少する一方、平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間の全国平均より多く、総じて体力合計点での低下や総合評価の上位層の減少・下位層の増加が生じています。

また、現在の中学校第2学年が、小学校第5学年時の平成28年度の状況をみると、運動やスポーツが好きと感じたり、体育〔保健体育〕の授業を楽しんでいる比率が、概ね前年度よりも減少していたことから、子どもたちが運動やスポーツの楽しさを感じることができる取組が重要であると考えます。

今後は、引き続き各学校における「1校1実践」の取組や、適切な運動量を確保する体育・保健体育科等の授業の質的改善、運動を意識した生活習慣の定着をすすめるとともに、学校はもとより、家庭、地域、関係機関と連携した、運動機会の充実と運動時間の確保を図る取組を推進していく必要があります。